

編集方針 本巻は、これまで刊行してきた『新青森市史』資料編3近世(1)から5近世(3)の3冊の資料編をもとにした、藩政時代の青森市域を扱った通史です。昨年刊行した『新青森市史』通史編第一巻を受けて、1620年代中頃の「青森開港」から廃藩置県が行われた1871年(明治4)頃までを叙述の対象としています。

そして、弘前藩政の中に港湾都市青森を位置づけるということを全体の柱とする一方で、青森の後背地域となる農村、温泉、関所、さらには通史編第一巻で取り上げた、中世以来の歴史的系譜を持つ村々との関係性にも注目しました。こうしたさまざまな社会環境を結びつけていくことで、青森市域の多面的な歴史像を明らかにするよう心がけて編集をしました。

本巻の内容と特色 本巻は、こうした編集方針にもとづいて、全体を7章でもって構成しました。17世紀の初めに、弘前藩がこの地に新たに町づくりを計画したことで誕生したのが「青森」です。そして、ここで生活を営む人々のようすや、文芸・教育といった幅広い歴史叙述を通じて、城下弘前とは異なる、青森独自の歴史や文化が育まれてきたということを読み取っていただけたらと思います。

発刊の意義 『新青森市史』通史編(全4巻)は、原始から現代まで続く「通史」であり、初めての試みであるといつていいでしょう。青森市では、1974年(昭和49)に編さんが終了

した『青森市史』をこれまでに発刊しています。ただ、この『青森市史』は、「昭和の大合併」以前の市域を対象としており、合併以前の町村の歴史叙述がほとんどありませんでした。

本巻は、そうした旧町村部(後背地域)の歴史叙述を盛り込むことによって、これまでの歴史叙述をぐっと深化させることができました。おどろきと発見の多い、ふるさと「青森」の歴史を手にすることができると思います。



県庁の敷地内にある「御仮屋跡」の碑

- 閲覧できる所 市民図書館・各市民センター・県立図書館
- 販売している所 成田本店・よしのや本間・縄文時遊館・中世の館・市史編さん室
- 販売価格 5,995円(税込)
- 問合せ先 市史編さん室(松原ポンプ場) Tel.017(732)5271